影響調査まとまる

スパイクタイヤ

積雪寒冷地では、スパイクタイヤによる舗装の摩耗、削られた舗装成分やスパイクピンの金属成分からなる粉じんによる大気汚染などが大きな社会問題となっています。

市では、昨年から今年にかけて、「アスファルト舗装摩耗調査」と「道路粉じん実態調査」を行い、このほどその結果がまとまりました。

横断プロフィルメーターを使っての測定風景
（3月17日上所島で）

舗装の減りは昨冬の二倍

昨冬に引き続き、二回目の「アスファルト舗装摩耗調査」を、積雪前の五十八年十二月十六日と今年三月十七日に、市内六カ所で行いました。

調査地点は、前回からの西堀通五（山下家具店前）、幸西四（八千代橋東詰め）、八千代一（伊勢丹前）、女池・藤塚物産前）、出来島（東洋ガス化学前）に、今回から上所島（新潟南高校前）が追加されました。

女池の鳥屋野方向では、最高摩耗深が十五・〇ミリ（昨冬は七・五ミリ）、道路幅員による条件を同一にした一㎡当たりの摩耗断面積が六十・三平方ミリ（同二十九・四平方ミリ）と、二年連続最高でした。

全般的に、今冬は昨冬に比べて二倍以上の摩耗が記録されました。

粉じんは夏場の三倍

市では初めての「道路粉じん実態調査」を、昨年四月から今年三月まで、市内五カ所（西堀通、下木戸、東大通、新潟バイパス、石山）で行いました。調査項目は①浮遊粉じん②浮遊粒子状物質③道路側溝砂粉じん④降下ばいじん――などです。

このうち、昨年四月から今年一月までの西堀通（市役所前）と石山（石山中学校前）での浮遊粉じんと浮遊粒子状物質について、このほど中間報告がまとまりました。

〈浮遊粉じん〉

交通量の多い市役所前では、スパイクタイヤの装着期の五十八年四月、十二月、五十九年一月は、非装着期の五十八年八月に比べ、二・二～二・九倍と濃度が高めでした。

交通量の少ない住宅地の石山中学校前では、四月がやや濃度が高いものの、冬期間は降雨や路上の雪のために濃度が低く、季節的な変化はあまりありませんでした。

〈浮遊粒子状物質〉

浮遊粒子状物質（粒径が百分の一ミリ以下のもの）の濃度については、スパイクタイヤの装着による影響は浮遊粉じんほどではありませんが、市役所前の四月、十二月で一・九～二・八倍ありました。しかし石山では四月を除くとあまりはっきりした影響はみられませんでした。

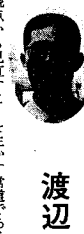
西川におけるこの荒廃の進行を早期にストップし、生活の場における水と緑のうるおいの川として形成していくことは、他の川の再生へのモデルケースとなるにちがいない。

西川の水源は農業用水であり、流れも適度に屈曲して変化に富んでおり、恵まれた条件を持った川といえよう。この条件を生かして、可能なところから着手するなら、速やかに坂井輪地区住民の身近な憩いの場として定着するであろう。

第三次総合計画 入選論文 ⑩（おわり）

「水の都」の復活を

渡辺　正夫（中山六、35歳）



市街地にはさまれるように存在する広大な水面と、毎冬渡ってくる多数の水鳥たち。この鳥屋野潟のかけがえのない価値に、多くの市民は気づいていないようである。はばる甑湖まで白鳥を見に行くのだから。

このことに象徴されるように、これだけ水に恵まれながら、また水から隔たってしまった都市もないであろう。数多くの堀を埋め、川岸を鉄で固め、水を汚し、貴重な砂丘湖も次々と壊してしまった。その結果、水にまつわる固有の文化・環境・景観も失ってきたのである。

しかし、これらもその時々にはそれなりの理由をもってなされてきたことを考えるなら、現在進行中の大規模な開発計画や治水計画について、改めて親水性・環境保全・景観といった観点から見直すことが、「水と緑の都市」を創る第一歩となるのではないだろうか。

市民の湖・鳥屋野潟

中でも鳥屋野潟は新潟の「水」を生かす常道である。複雑な権利関係を一掃することが必要なら、市民基金を呼びかけることも一方法である。「白鳥の来る都市の中の湖」を市民のうるおいの場として実現できるか否かは、新潟市の将来を大きく左右するであろう。

信濃川に水鳥ゾーンと水上スポーツを

信濃川も治水上の要請から堤防の改修が始まっている。「緑の丘」のような堤防と親水性のある護岸、都市憩報告にある並木道などが実現するなら、新潟に新しい景観が提供されるだろう。そこで、さらに自然環境と水上スポーツという要素を取り入れることを提案したい。

現在の信濃川には部分的だが水鳥の住む環境があり、その再生のため湿地植生を高水敷に造成することは技術的に可能である。その水鳥ゾーンに先の鳥屋野潟の白鳥が飛来するなら、新潟の新しい名所となるだろう。

また、今も見られるボートやカッターの練習風景は、人と川との結びつきを強く印象づけている。これをさらに拡大して市民スポーツとして定着させることは、水の街としてふさわしいことであり、そのための施設も一定区域に配置されるべきであろう。

このように人と川との関係を多面的にとらえ、それを現実化していくなら、同じ護岸が延々と続く風景から変化に富んだ水辺となり、市民生活に融けこんだ美しい信濃川が生まれるにちがいない。

ゆったりと街を二分して流れる信濃川

身近かで憩える「西川」

西川は生活の川の代表だが、急速な都市化の波に洗われ、今や第二の栗ノ木川になろうとしている。水質の悪化・ごみの不法投棄、さらに治水の鋼矢板の護岸が進行中だ。人々が川に背を向け荒廃が進む中で、必ずやうるおいを求める声が出てくるだろう。

観光客を引きつける個性ある都市

以上のように、まず今ある条件を「水と緑のまち」にふさわしく生かしながら、失われた堀や砂浜の復元にとりくむなら、新潟は日本海側の「水の都」として復活し、市民も自らの努力の結晶としてそれを誇らかに語る日がくるだろう。その時こそ個性ある都市として、新潟が多くの観光客を引きつける魅力を持つのである。

工業振興資金

貸付制度を新設

市では、工業振興策の一環として「工業振興資金貸付制度」を新設し、申し込みを受け付けしています。

この制度は、製造業を営む企業に、設備投資に必要な資金を低利で貸し付けるものです。

工場適地（新潟、津島屋、東港臨海工業地帯）への企業立地を図るための工場適地立地資金、適地以外の市域への立地や工場新増設資金、中小企業の技術力や生産力の向上を図り、設備の近代化を促進するための設備近代化資金の三つで構成されています。

申し込み・問い合わせ　工業振興課（西堀通六、第二西堀ビル五階）へ

工業振興資金一覧

区分		貸付対象	貸付額	利率%	償還期間
工場適地立地資金	工場適地取得	津島屋・東港臨海工業地帯に工場用地（五〇坪以上）を取得し、工場（二〇坪以上）を新増設する企業	取得に要した土地（五〇〇坪以内）の五分の一（千円以下）と、建屋（千円以下）を合わせた額	年五・〇	十一年以内（据置期間五年以内）
	工場新増設資金	適地以外に工場（五〇〇坪以内）を新増設する企業（中小企業）と、新規雇用（二〇人以上のこと）を伴う企業	取得に要した土地の五分の一（千円以下）と、建屋（千円以下）を合わせた額	年五・五	十年以内（据置期間五年以内）
設備近代化資金		中小企業が高度に近代化した企業	取得に要した機械の五分の一（千円以下）と、建屋（千円以下）を合わせた額	年五・五	五年以内（据置期間一年以内）

●申込金額の総額が貸付予定枠に達した時に締め切ります。
●取扱金融機関：第四銀行、北越銀行、商工中金

妊婦相談

時間　午後1時～2時
持参品　妊娠届出書、印鑑

月・日	会場	内容
5/14, 28	東保健所	指導　母子健康手帳の交付と保健
5・15	北地区保健センター	
5・23	石山地区保健センター	
5・7	鳥屋野地区保健センター	
5・21	中地区保健センター	
5/2, 16, 23, 30	西保健所	
5・23	西地区保健センター	
5・9	坂井輪地区保健センター	

はかりの定期検査

会場　願隨寺（元祝町）
受付時間　午前9時～午後3時

月日	対象地域
5・1	島幡子町、四ツ屋町1～3丁目、鈴町1・2丁目、東受地町、西受地町、笠町1～3丁目、典町1・2丁目、祝町、元祝町、浮州町、菅根町、菅台町、寺山町
5・2	本町通14番町、寄居町、横七番町1～3丁目、横八番町、夕栄町、蒲町

大学南区画整理事業関係者の皆さんへ
西地区事務所に「窓口」を新設

大学南土地区画整理事の推進を図るため、西地区事務所3階に**都市開発課分室**（☎63―1520）を設けました。

保健婦による健康相談

地区	月日	会場	時間
松浜、南浜、蒲川	4・23	（医師による相談）北地区保健センター	午後1時半～3時
中野小屋	4・26	笠木公民館	午前10時～正午 午後1時～3時
大江山	4・27	大江山農村環境改善センター	午前10時～正午 午後1時～3時

助産婦による妊婦健康相談

月日	会場	時間	申し込み
5・12	西保健所	午前9時半～11時 持参品　母子健康手帳	電話で西保健所へ
5・15	西地区保健センター		
5・10	入舟地区　〃		

妊娠中にかかりやすい
病気の予防と食事講習会

日時　5月14日午後1時半～3時半（受け付けは午後1時20分～1時半）
会場　西保健所
定員　25人（先着順）
持参品　母子健康手帳、筆記用具
申し込み　電話で会場へ

電話加入権の公売

日時　4月25日午前10時～
会場・問い合わせ　納税課（市役所4階）
その他　買い受け代金は午後1時までに現金で納付。電話局で行う権利移転手続きは、住民票と印鑑が必要。

離乳食講習会

日時　4月26日午前10時～正午、受け付けは午前9時半～10時
会場　西保健所
対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品　母子健康手帳
申し込み　当日会場へ

ママへの準備教室

対象　9、10月に分べん予定の初産婦
持参品　母子健康手帳、エプロン、タオル
申し込み　電話で各会場へ

月日	会場	時間	定員	内容
5・1	石山地区保健センター	午後1時半～3時半	15人	・おふろの入れ方（実習）・オムツの作り方・衣類の選び方
5・4	東保健所	午後1時半～4時	各20人	
5・18	（都合の良い日を選択）			

安産教室

持参品　母子健康手帳、ズボン、筆記用具
内容　安産体操、産後の家族計画ほか
申し込み　電話で各会場へ

月日	会場	時間	対象その他
5・2	東保健所	午前9時半～11時半	8、9月分べん予定の初産婦各先着30人2日で1コース
5・22	鳥屋野地区保健センター	午後1時半～3時半	
5・17	西保健所	午前9時～9時20分受け付け、正午終了	9、10月分べん予定者先着20人、3日1コース、3回目は夫婦同伴

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
4・22	午前10時～午後4時	ライオンドー石山店前（東中島2）
4・23	〃	清水フード大学前店（五十嵐1）
4・24	〃	日本石油㈱新潟製油所（鳥が島）
4・25	午前9時半～午後3時半	大成建設㈱新潟支店（八千代1丁目）
4・26	午前10時～午後4時	清水フード笹口店前（南笹口2）
4・27	午前9時～正午	丸山導体製作所㈱本社（万代3）
	午後1時～午後3時半	丸山導体製作所㈱山木戸工場（山木戸7）
4・28	午前9時半～午後3時	㈱鈴新潟販所（花園1）

※正午～午後1時まで受け付け休みます。

昭和59年度
栄養教室（10回1コース）

対象　各会場の管内に在住の婦人50人
申し込み　電話で各会場へ　（先着順）

期日 西保健所会場	期日 東保健所会場	内容（各会場共通 時間　午前10時～午後零時半）
5・15	5・18	公衆衛生と健康増進、保健所の役割り
6・5	6・1	栄養の基礎知識
6・19	6・15	食品の組み合わせ、調理実習
7・3	7・6	何をどのくらい食べたらよいか、調理実習
7・13	7・20	栄養診断、わが家の食事プラン（話し合い）
9・4	9・7	たべもののゆくえ、調理実習（朝食の工夫）
9・18	9・21	昼食の工夫、調理実習（おべんとうのおかず）
10・2	10・5	食品衛生、暮らしの中の凍動（実技）
10・16	10・19	「味の科学」洪谷県立女子短大助教授
11・6	11・2	薬の正しい知識、食生活改善のための地区活動